

本日、山中 竹春 横浜市長が 長峯 誠 経済産業大臣政務官へ提案・要望を行いました

本日（8月28日（月））、山中 竹春 横浜市長が、次のとおり「横浜市の水素等輸入・供給大規模拠点化及び横浜港のカーボンニュートラルポートの形成への支援」について、提案・要望いたしましたので、お知らせします。

1 日時・提案先・提案内容

日時	提案・要望先	主な提案・要望内容
8月28日（月） 11時40分 ～11時55分	経済産業省 長峯 誠 経済産業大臣 政務官	横浜市における水素等輸入・供給大規模拠点化及び 横浜港のカーボンニュートラルポートの形成 に向けた支援

2 提案・要望の様子 ※写真データを希望される場合は、お問合せ先までご連絡ください。



（長峯 経済産業大臣政務官）

3 山中 竹春 横浜市長コメント

このたび、経済産業省に「横浜市の水素等輸入・供給大規模拠点化及び横浜港のカーボンニュートラルポートの形成への支援」について、提案・要望いたしました。

長峯 経済産業大臣政務官からは、「横浜は都心部にありながらブルーカーボンに多くの地元の方々が参加して取り組んでおり、感心している。一方、みなとみらい21地区は脱炭素先行地域に認定されている。また、臨海部には様々な事業者が集積しており、脱炭素の取組を進めていく素地が整っているため、今後に大きく期待している。今後は水素基本戦略に基づいてインフラ支援など、有効な策を考え講じていく。」とのコメントをいただきました。

国や県、周辺自治体、民間事業者等と緊密に連携して、カーボンニュートラルを実現していくうえでも、国において、このたびの提案・要望をぜひ実現していただきたいと思えます。

お問合せ先

温暖化対策統括本部企画調整部プロジェクト推進課長 松下 功 Tel 045-671-2636
港湾局政策調整部政策調整課カーボンニュートラルポート担当課長 中村 仁 Tel 045-671-7279
港湾局政策調整部政策調整課長 洞澤 実 Tel 045-671-2877

令和6年度 予算・政策に対する要望書

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

令和5年8月
横浜市



横浜市の水素等輸入・供給大規模拠点化及び横浜港のカーボンニュートラルポートの形成への支援

横浜市を水素等輸入・供給大規模拠点、横浜港をカーボンニュートラルポートとするため、2050年の脱炭素社会実現に向けた、横浜が目指す脱炭素イノベーションの方向性を取りまとめました。

市内4か所の火力発電所の脱炭素化に向けて、水素等を大量輸入します。また、パイプラインを敷設し、

- ・脱炭素先行地域に指定されているみなとみらい21地区

- ・日本を代表する総合港湾である横浜港

- ・日本最先端の脱炭素技術開発が進む鶴見・磯子地区

- ・主に中小企業が立地する金沢産業団地

- ・「GREEN×EXPO 2027」が開催され新たなまちづくりが行われる上瀬谷地区など、

市内各地に水素等を供給することで様々なイノベーションを起こしていきます。さらに、市民団体、NPO等の環境活動と連携し、杉の森林と同等のCO₂吸収効果があるとされているブルーカーボンの取組を進めていきます。

以上について、国、近隣自治体、学識経験者、民間事業者の皆様と連携しながら、令和6年度の水素等輸入・供給大規模拠点の選定に向けて、具体的な検討を進め、GX資金を導入しながら、カーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいきますので、ご支援をお願いいたします。

横浜が目指す脱炭素イノベーションの方向性



東京湾UMIプロジェクト